

議会だより

編集 議会だより編集委員会

令和元年第2回朝霞市議会定例会

平成30年度各会計決算など25議案を審議

令和元年第2回朝霞市議会定例会は、8月29日(木)から9月26日(木)まで29日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長から26議案が提出され、慎重に審議した結果、25件の議案を可決・認定・同意し、1件の議案の撤回を承認しました。

議案の件名と要旨は、次のとおりです。

なお、議案等審議結果は、市ホームページに掲載しています。

議案審議

議案第13号 平成30年度朝霞市一般会計歳入歳出決算認定について

【説明】

歳入430億2511万3347円、歳出416億8394万5275円で、この決算を正當なものとして認定するものです。

【質疑】 公共工事の品質を高めるために

山口公悦議員 検査室対象の公共工事の工事成績評価について伺います。

7年前に基準の65点以下の工事について取り上げ、品質を高めるように求めましたが、その時期から見ると全体として評価点が上がっています。

しかし、配管関係の工事請負業者で1社、6か所の事業で70点台というものがありましたが、どのような問題があるのかお答えください。

副市長 まず、工事成績評価とは、工事の合格の可否を言っているものではなく、品質を評価しているところはご理解いただきたいと思います。

1社、70点台の評点が多いという点に関しては、細目別低評価対象事項により詳細に把握できていますので、当該項目をそれぞれの工事におけ

る重要検査ポイントとして、中間検査等で注意深く確認していくとともに、担当監督員にもその状況を伝え情報の共有を行い、工事品質の向上を図っているところです。

また、令和元年度から工事成績評価の中に中間検査でのコメントを入れるところも出てきたので、そういったところも今後活用できるかと思っています。



教育行政施策評価調書に問題がある

小山香議員 不登校の児童・生徒の出現率は、平成28年度から30年度まで小学校は目標値が0.23割のところ、出現率は0.34割、0.43割、0.72割。中学校は目標値が1.38割のところ、出現率は3.39割、3.85割、3.94割と年々増加し、目標値と約3倍前後の開きとなっています。今まで施策をやってきたにも関わらず、不登校が増えました。不登校行政に何か問題があります。

しかし、朝霞市教育行政施策評価調書および報告書では不登校施策評価の記述が一切なく、計画どおりに成果が上がっているとの評価です。問題がありませんか。

教育長 教育行政施策評価報告書の施策の分析に不登校が入っていないことは、意図的ではないのですけれども、調査研究していきたいと思っています。

学校教育部長 数値の上がつてきている要因として、これが原因であると特定できないような不登校の要因もありますので、これも踏まえて丁寧に対応したいと思っています。

今後、第5次朝霞市総合計画後期基本計画を立てる際に目標値として掲げて不登校児童・生徒の解消といった部分についても光を当てながら、目標値の見直しについては検討したいと考えています。

【採決】

認定（賛成多数）

議案第14号 平成30年度朝霞市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

【説明】

歳入110億5955万6376円、歳出108億9777万7

645円で、この決算を正當なものとして認定するものです。

【採決】

認定（賛成多数）

議案第15号 平成30年度朝霞市朝霞都市計画下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

【説明】

歳入17億8787万1646円、歳出16億6572万7244円で、この決算を正當なものとして認定するものです。

【採決】

認定（賛成多数）

議案第16号 平成30年度朝霞市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

【説明】

歳入69億9662万7412円、歳出67億8161万5263円で、この決算を正當なものとして認定するものです。

【採決】

認定（賛成多数）



議案第17号 平成30年度朝霞市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

【説明】

歳入12億4872万8837円、歳出12億4294万7693円で、この決算を正當なものとして認定するものです。

【採決】

認定（賛成多数）

議案第18号 平成30年度朝霞市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

【説明】

剰余金の処分については、当年度末処分利益剰余金のうち、2億5507万6243円を資本金へ組み入れ、減債積立金および建設改良積立金に、それぞれ1億7500万円を積み立てるものです。

決算については、収益的収入額23億9508万3292円、収益的支出額19億8929万6651円、資本的収入額5億5817万364円、資本的支出額12億7443万5699円で、この決算を正當なものとして認定するものです。

【採決】

原案可決及び認定（賛成多数）

議案第19号 令和元年度（2019年度）朝霞市一般会計補正予算（第2号）

【説明】

補正額は、4544万円の増額で、予算総額は、430億6139万5千円となりました。歳入は、県支出金を増額しています。

歳出は、参議院議員選挙執行事業で、投票立会人等の報酬や職員の時間外勤務手当をはじめ、投票所入場券等の郵便料や入場券作成委託料などを増額しています。

【採決】

原案可決（全会一致）

議案第20号 令和元年度（2019年度）朝霞市一般会計補正予算（第3号）

【説明】

補正額は、14億1831万4千円の増額で、予算総額は、44億7970万9千円となりました。

歳入の主なものは、国庫支出金、県支出金、繰入金、繰越金、諸収入、市債などを増額し、地方特例交付金、地方交付税を減額しています。

歳出の主なものは、市民会館駐車場の整備に伴う経費、幼稚園利用料等補助金、市道

8号線の道路舗装工事に要する経費、子ども相談室の施設改修経費などを計上し、介護給付・訓練等給付費負担金、各種個別予防接種委託料、再資源化処理委託料、シンボルロード整備などに係る経費、小学校の校舎改修工事などを増額するほか、平成30年度決算による前年度繰越金を財政調整基金に積み立てています。

【質疑】

給付・補助金の新規事業について

かしわや勝幸議員 新規給付・補助事業の「未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時特別給付金」と「私立保育園就園費補助事業の認可外保育施設等利用補助金」、「小中学校教育扶助事業（学用品・通学用品費）」の3事業について、対象者を含めた内訳と積算根拠について、お伺いいたします。

子ども・健康部長 未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時特別給付金の内容ですが、令和元年10月31日現在において婚姻をされたことがない方で、11月分の児童扶養手当の支給を受ける方が対象となり、約80名の対象者を見込み、一

人1万7500円で計140万円を計上しました。

私立保育園就園費等補助事業の認可外保育施設等利用補助金の内訳については、利用上限額、月額3万7千円の6か月分から積算しています。

学校教育部長 小学校教育扶助事業では、新入学児童学用品費等の引き上げ額1万円について、146人分を積算しました。また、学用品・通学用品費の支給単価引き上げ対応分として640人分を積算し、合計で13万5千円を計上したものです。

次に、中学校教育扶助事業では、1万円の引き上げ額について新入学生徒学用品費等の入学前支給者対応分として243人分を積算しました。また、学用品・通学用品費の支給単価引き上げの対応分として360人分を積算し、合計で25万4千円を計上したところです。

シンボルロードについて

大橋正好議員 この補正予算では、シンボルロードの周辺整備をする中で、ベンチを設置すると聞いていますが、それはどのようなベンチですか。内容について説明してください。

また、以前、ベンチについては記念事業としてどうだろうかという質問もしているのですが、思い出ベンチなどという話で、この辺についての考えはあったのかお聞きしたいと思います。

都市建設部長 ベンチは、朝霞中央公園の公園通りに面した外柵を一部撤去した箇所に設置したいと考えています。

お年寄りから子供連れの方まで散策に疲れた方がひと休みできるように、また、車いすの方も介助者と一緒に休憩できるよう、ベンチの横には車いすの表示をしたスペースを設けるなどの工夫もしたいと考えています。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした取り組みとして、今回のベンチの設置について、例えば未来に向けたメッセージなどを入れたプレートへの取り付けなどの仕組みを検討しているところです。

【採決】

原案可決（賛成多数）



議案第21号 令和元年度（2019年度）朝霞市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

【説明】

補正額は、1億5480万2千円の増額で、予算総額は110億7709万5千円となりました。

歳入は、県支出金、繰越金を増額しています。

歳出は、国民健康保険税システムの改修業務委託に伴う費用、保険給付費等交付金返還金などの償還金を増額し、

今回の補正における歳入歳出の差引額を財政調整基金等積立事業に積み立てるものです。

【採決】

原案可決（全会一致）

議案第22号 令和元年度（2019年度）朝霞市朝霞都市計画下水道事業特別会計補正予算（第1号）

【説明】

補正額は、1億145万6千円の増額で、予算総額は、14億4846万1千円となりました。

歳入は、繰越金を増額しています。

歳出は、一般会計繰出金、市道5号線の雨水対策工事に

おける取付管布設替工事に係る費用や、市道8号線の道路整備に合わせ経年劣化した人孔蓋の交換工事に係る費用を増額しています。

【採決】

原案可決（全会一致）

議案第23号 令和元年度（2019年度）朝霞市介護保険特別会計補正予算（第2号）

【説明】

補正額は、2億7225万1千円の増額で、予算総額は、72億4663万2千円となりました。

歳入は、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、繰入金、繰越金を増額しています。

歳出は、電算システム保守点検委託料、保険給付費、介護保険保険給付費支払基金積立金、平成30年度決算の確定に伴う国、県、支払基金への返還金および一般会計繰出金を増額しています。

【採決】

原案可決（全会一致）

議案第24号 令和元年度（2019年度）朝霞市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

【説明】

補正額は、578万円の増額で、

予算総額は、13億4127万1千円となりました。

歳入は、繰越金を増額しています。

【採決】

原案可決（全会一致）

議案第25号 朝霞市印鑑条例の一部を改正する条例

【説明】

住民基本台帳法施行令等の一部改正により、住民票への旧氏の記載が可能となることから、印鑑事務において、登録できる印鑑および印鑑登録証明書の記載事項に、住民票に旧氏の記載がされている場合の当該旧氏を新たに加えるために必要な条項を追加するほか、字句を整理するものです。

【採決】

原案可決（全会一致）



議案第26号 地方公務員法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例

【説明】

地方公務員法および地方自治法の一部改正により、会計年度任用職員制度が創設されたことに伴い、会計年度任用職員等の任用、勤務条件等に関する規定を整備するほか、

成年被後見人等に係る欠格条項等の措置の適正化に伴い、朝霞市職員の給与に関する条例等について所要の改正を行うものです。

【採決】

原案可決（全会一致）



議案第27号 市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例

【説明】

令和元年5月30日に朝霞市特別職報酬等審議会から出された答申を踏まえ、市議会議員の議員報酬の額ならびに市長、副市長および教育長の給料の額を引き上げる改正を行うものです。

【質疑】 特別職の給与等について

田辺淳議員 この改正案にある「等」には、市長と副市長以外に教育長と議員（議長・副議長・委員長・市会議員）の給与や報酬も含まれていました。

本来は、議員の報酬については別の議案で審議すべきだとは思いますが、この改正によって、それぞれの年収がいくらになり、影響額（年間の増額分）はいくらになるのか、お伺いします。

総務部長 議長の改正後の年収が76万9200円で、10万9200円の増です。副議長が67万800円で、10万800円の増です。常任委員長、議会運営委員長が65万900円で、9万2400円の増です。議員が63万5900円で、9万2400円の増です。

市長が1589万2110円で、23万4090円の増です。副市長が1347万3180円で、19万740円の増です。教育長が1233万7410円で、18万2070円の増です。

【採決】

原案可決（賛成多数）

議案第28号 朝霞市税条例の一部を改正する条例

【説明】

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、個人市民税について、単身児童扶養者を非課税措置対象者に追加し、当該申告書類について整備等を行うものです。

また、軽自動車税について、環境性能割の臨時的軽減について規定するほか、種別割に係る令和2年度から令和5年度までの軽減について規定するものです。

【採決】

原案可決（全会一致）



議案第29号 幼児教育・保育無償化に伴う関係条例の整備に関する条例

内閣府令に誤りがあり、市長から議案の内容を精査する必要があると説明がされ、撤回の請求があり、承認されませんでした。

議案第30号 朝霞市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

【説明】

家庭的保育事業等における連携施設の確保の要件の緩和、連携施設を確保する経過措置を現行の5年間で10年間に延長、保育士として見なす者に新たに准看護師を追加する等の改正を行うものです。

また、成年被後見人等に係る欠格条項等の措置の適正化に伴い、引用条項の改正を行うものです。

【採決】

原案可決（賛成多数）

議案第31号 朝霞市下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例

【説明】

本市の下水道事業を地方公営企業とするため、基本的事項を定めるとともに関連する条例を改正するものです。

【採決】

原案可決（賛成多数）

議案第32号 朝霞市施設等利用費の支給に係る認可外保育施設の基準を定める条例

【説明】

令和元年10月1日から実施される幼児教育・保育無償化の対象となる認可外保育施設の基準を定めるものです。

【質疑】

ベビシッターの安全性確保

黒川滋議員 保育無償化の一環でベビシッターにも公費の助成が始まります。これに伴い何らかの基準が必要として、提案された条例と理解していますが、実地監査のできない事業にどのように基準の遵守を確認していくのか。

良質な事業者もいる一方、5年前、富士見市でベビシッターが不適切な保育の上に虐待死させる事件も発生しました。

こうした中、事業者の認可制度は入れられなかったのかお伺いいたします。

こども・健康部長 基本的に認可外の保育施設そのものが届け出制とされています。

これについては、児童福祉法を根拠にしており、その中で、認可外保育施設については届け出制であると言われているので、それを認可にするということは難しいのが現状です。

ただ、やはりベビシッターについて、安全性の確保は私どもも懸念しているところですので、まずは届け出の際に従事者の方の面談をよく

行っていくということ、また、現場については、なかなか現地調査というのはできません。それに代わることができるとかということ所管課でも検討しているところです。

【採決】

原案可決（全会一致）

議案第33号 市道路線の認定について

【説明】

開発行為に伴う17路線で、都市計画法第40条の規定により帰属された道路を認定するものです。

【採決】

原案可決（賛成多数）

議案第34号 工事請負契約の締結について

【説明】

朝霞市立総合体育館改修工事（第2期）について、請負契約を締結するものです。

【採決】

原案可決（全会一致）



議案第35号 人権擁護委員候補者の推薦に関する意見を求めることについて

【説明】

任期満了となる次の方を、再び委員に推薦することに議会の意見を求めるものです。

【採決】

原案可決（全会一致）

議案第36号 教育委員会委員任命に関する同意を求めることについて

【説明】

任期満了となる次の方を、再び委員に任命することに同意を求めるものです。

【採決】

同意（全会一致）

議案第37号 教育委員会委員任命に関する同意を求めることについて

【説明】

次の方を新たに、委員に任命することに同意を求めるものです。

【採決】

同意（全会一致）

議案第38号 幼児教育・保育無償化に伴う関係条例の整備に関する条例

【説明】

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律等の施行により、令和元年10月1日から幼児教育・保育の無償化が実施されるため、関係条例について所要の整備を行うものです。

【質疑】

給食費も含めた保育の無償化を

石川啓子議員 10月から保育の無償化が始まります。しかし、すべてが無料になるわけではなく、新たに副食費の徴収が始まります。国が示した基準額は、主食費3千円、副食費4500円と、学校給食費と比べても高額です。

これまで給食費も含めて無償とするように求めてきました。主食費については低所得者の軽減はありません。

朝霞市は、主食費を1千円補助することを提案していますが、提案までの経緯と考え方について伺います。

こども・健康部長 保育園に補助金を支給することになった経緯ですが、子ども・子育て会議においてご意見をいただいたことから、公設保育園と民設保育園の給食費の差を

縮め、保護者の負担を軽減するために、民設保育園に給食費の補助金を交付することになりました。

なお、実費徴収について、副食費は低所得者世帯等は免除となり、主食費は全ての保護者が対象となることから、補助金の対象を主食費にしました。

補助金額を月額1千円としたことは、公設保育園と民設保育園との差額や無償化に伴う市の負担増などを総合的に検討した結果です。

また、給食費の補助金を創設した理由から、対象を絞ることなく民設保育園を利用する全世帯を対象としました。

【採決】

原案可決（賛成多数）



一般質問

一般質問とは、生活に関わる市政全般のことについて、市に対して行う質問です。

総務関係

東京オリパラ競技大会を迎えるにあたって

石原茂議員 オリパラの開催まで1年を切りました。当市での1年前イベントでは、ロンドンオリンピックに出場された当市出身の土井杏南選手をお招きし、大変多くの来場者が見えました。私も体育協会長として出席しました。

パラリンピック競技が県内で唯一開催される当市では、射撃競技が行われますが、大会に向けた市民の啓発が順調に行われていると思います。

イベントなどの取り組みの状況と今後の大会に向けて、どのようなことが予定されているか伺います。

市長公室長 本年7月には、全日本ライフル射撃競技選手権大会との同時開催で、射撃の競技会場となることを記念し制作した本市オリジナル楽曲「夏の夢の始まりに」を、朝霞西高校吹奏楽部の演奏により披露したほか、ビームライフルなどによる射撃の体験競技なども実施しました。

また、8月にはボッチャやブラインドサッカー体験を実施しました。

今後の予定は、来年7月7日にオリンピック聖火リレーが本市を通過することが決定しているほか、パラリンピック大会期間中は、競技の中継や体験などを楽しめるライブサイトを総合体育館で開催する予定です。そのほか、大会期間中に来場される方々へのおもてなし等、検討を進めているところです。

その他の質問項目「東京オリパラ競技大会に向けたインフラ整備について／自主防災組織について」

市主催の戦後75周年の慰霊祭について

須田義博議員 平和事業の慰霊祭（戦没者追悼式）についてお聞きします。終戦から74年目を迎え、今年も戦没者の追悼式典が、各地で催されました。先の大戦で犠牲になった30万人を超える戦争犠牲者を思い、戦争の悲惨さや平和の尊さをどう伝え守っていくのか、その大切さと難しさを夏が来るたびに実感しています。平和教育と平和に関する啓発事業は絶え間なく続けていく必要があると思います。そこで朝霞市の平和記念事業

と戦没者追悼式についてお聞きします。

市長 来年は、終戦から75年目を迎えることとなります。戦争を体験された方々も高齢化が進み、過去の悲惨な戦争の記憶も風化されつつあることなどから、戦争で犠牲となられたすべての方々のご冥福をお祈りするとともに、戦争の悲惨さや平和の大切さを改めて考えていただく機会として、市主催の戦没者追悼式の開催について検討していきたいと考えています。

総務部長 本市の平和事業は、市内2カ所に平和都市宣言の標示塔を設置しているほか、市庁舎での平和都市宣言の懸垂幕の掲出、市役所市民ホールでの平和に関するパネル展示および平和に関するDVDの放映、夏休み期間中に親子で平和施設を巡る平和バスツアーなどを行っています。

また、広島・長崎の原爆被災日における黙祷や終戦記念日における黙祷および半旗の掲揚を市庁舎および市内公共施設において実施しています。その他の質問項目「防災対策、市内小中学校に自販機の設置を」



市民負担の軽減と子育て対策・就労支援

かしわや勝幸議員 国民生活基礎調査では、全世帯で「大変苦しい・やや苦しい」が57%、子育て世帯62%で、子育て世帯から高齢者世帯まで苦しく、家計実質可処分所得では女性が共働きで支えている状況です。

消費税増税により厳しさが増すと想定されます。国保税・後期高齢者医療保険料・教育費の負担軽減や待機児童・病児保育など子育て・就労支援整備について、市民・市長・職員の皆様にこれまでのご協力に感謝し質問いたします。

介護保険料の軽減・夜間保育の拡充も要望します。

市長公室長 市としては、低所得者に対する施策として、国民健康保険税や後期高齢者医療保険料などの負担軽減を図ること、また、子育て世帯に対する施策として、保育園の増設等による待機児童対策や病児保育の実施、教育費の援助を行うなど、教育環境などの整備充実に努めていくことは重要と認識しています。

厳しい財政状況や各種制度の趣旨に鑑みると、適正な負担をしていただくことは必要ですが、その上で市民サービスの向上や負担軽減が図られるよう、必要な施策の実施に努めていきます。

その他の質問項目 水道料軽減／雨水対策／溝沼・弁財・泉水・膝折・三原・岡・仲町・駅周辺の道路整備安全対策



災害時の停電による熱中症対策を

石川啓子議員 首都圏を襲った台風15号によって、千葉県での大規模な停電や断水の長期化をはじめとして重大な被害が広がっています。

猛暑の中、エアコンが使えず熱中症の疑いで搬送される方が相次ぎ、亡くなった方も出ています。医療機関や高齢者施設では、綱渡りの対応が

迫られています。

朝霞市では、総合体育館に停電時でも空調が使用できる非常用電源を整備するそうですが、他の避難所や公共施設にも非常用電源を設置していくべきではないでしょうか。

市長 本来であれば、公共施設には非常用電源をつけて、対応できるようにしたほうがいいと思います。しかし、小学校、中学校に都市ガスを引いたときに、非常用電源も作れないかと指示をしたのですが、やはりどうしてもそれはできませんでした。では、燃料はどうかというところ、やはり置く場所や設備の大きさで、納めるところがない、あるいは費用の問題で断念せざるをえなかったということがありました。

今回、総合体育館でエアコンの導入をしました。そういった大規模な改修などがあつた場合には、非常用電源を設置できないかということ、これから指示していきたいと思っています。

その他の質問項目 介護保険料軽減／入所施設増設と費用補助／待機児童解消／保育中事故を防ぐために保育士増員

教育環境関係

選挙公約と議員活動4年間を振り返って

田原亮議員 任期最後の一般質問。皆様とお約束した私の選挙公約を踏まえ、この4年間の議員活動と成果を振り返りました。

公約の一つである高齢者福祉と子育て支援策についても多岐に渡る議論がありました。ここでは紙面の都合上、まちづくり及び地元企業活性化の一部のみ取り上げます。

本年4月の産業振興条例施行と産業振興基本計画の策定、そして市が発注する工事や物品買入れ等の地元企業優先発注について、その効果と今後の見通しを伺います。

市民環境部長 産業振興条例の効果ですが、基本理念、市の責務、事業者の役割等を明らかにしたことにより、それぞれの意識がさらに醸成され、地域経済の活性化が推進されることが期待できると考えています。

次に、産業振興基本計画では、起業支援、企業誘致、就業支援をリーディング・プロ

ジェクトとしています。

条例、計画ともに今年4月にスタートしたところであり、今後、実質的な効果が生まれてくるものと考えています。

総務部長 今年度の新たな取り組みは、入札では建設工事等指名業者選定要領の見直しを行い、市内業者の受注機会が増加している状況です。また、随意契約では「市内事業者の活用について」の通知を行ったほか、契約・検査事務研修会において、優先的に市内業者を活用するよう周知を図ったところです。

なお、地元企業優先発注の方針の策定状況ですが、現在、随意契約の複数年度の契約状況について、分析を進めているところです。

今後も、市内業者の優先的な活用について取り組んでまいります。

その他の質問項目 高齢者福祉と権利擁護の現状と課題／保育及び生きる力を育む教育への取り組み



朝志ヶ丘市民センター のさらなる利便性向上

津覇高久議員 朝志ヶ丘地域は、大型の浜崎団地や分譲マンションがあり、2丁目から4丁目まで戸建て住宅が並ぶ人情溢れる地域であります。

先日、住民の方より、市民センターに行くときに、今の看板だと分かりづらいとの話を頂きました。自転車や歩いて行くには問題がないのですが初めて車で行くときには確かに間違つて交差点を右折してしまう方が多いとのことでした。

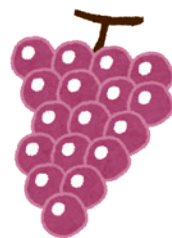
現状への対策を、お願いを込めてお尋ねさせていただきます。

市民環境部長 朝志ヶ丘市民センターは、平成6年11月1日に開設され、1階と2階が市民センター、3階が朝志ヶ丘自治会館として利用されています。

現在、朝志ヶ丘市民センターの案内看板は、市民センター前の交差点付近にありますが、より分かりやすくなるようにデザインや文字の大きさを工夫し、できるだけ早い時期に設置したいと考えています。

ます。

その他の質問項目 平成生まれに広まるマルチ商法／ロストジェネレーション世代へのさらなる指針を



子どもの登下校における 安全の確保について

岡崎和広議員 本年5月28日、51歳の男によりスクールバスを待っていた小学生児童、保護者が次々と刺され女児1名、男性1名が死亡するといった川崎市登戸通り魔事件が起きました。

子どもの安全確保は安全安心な社会の要です。

今後このような事件が起きないために登下校時における総合的な防犯対策が急務です。登下校中の子どもの安全確保について市の考えをお伺いいたします。

学校教育部長 神奈川県川崎市の事件後は、各小・中学校へ安全教育の徹底と、万が一

の状況に遭遇した際の対応を、各クラスや学年で指導するよう指示しました。

また、危機管理室を通じて、朝霞市の各町内会の自主防犯組織であるわがまち防犯隊に對して、学校と連絡を取り合つて地域巡回強化の協力を依頼しました。

学校に對しては、校長会を通じて、地域の自主防犯組織と顔の見える関係をつくるように指示をし、学校と地域が連携を図る体制を再確認したところです。

さらに、青色防犯パトロールの巡回についても、登校時間に合わせた巡回を実施しました。

その他、通学路の安全確保については、交通指導員を配置し、スクールガードリーダーと連携しながら見守り活動を行っています。

教育委員会としては、事故や事件から子どもたちの命を守るため今後も関係各課との連携を密にし、見守り活動を強化したいと考えています。

その他の質問項目 彩夏祭を終えて／ゲリラ豪雨対策／無電柱化／出生記念品の復活／給食にフェアトレード食材を



ペット防災手帳について

遠藤光博議員 動物愛護管理法の改正に伴い、ペットの飼い主の責任は大きいものになりました。

災害時においても日頃から備えるペット防災手帳の取り組みを提案しますが、いかがでしょうか。

また、ペット防災はペットを飼っていない人へ発信していくことが大事と感じます。さらに飼い主がけがをしてはペットを守れません。そこで、人の防災と同じ枠で啓発していくことが必要ではないかと思いますが、今後の取り組みについて伺います。

市民環境部長 ペット防災手帳については、日常の備えや災害時の対応が分かりやすくまとめられていますので、現在、啓発活動で使用している

リーフレット等にとのように取り入れられるか、検討したいと考えています。

ペット防災については、飼い主とペットが安心して避難生活を送ることができるよう、ペットの同行避難や避難所での飼育マナーなどを飼い主に周知するとともに、同じ避難所内で避難生活を送ることとなる飼い主以外の方のご理解も必要であると考えています。

市としては、ペットを飼っている、飼っていないに関わらず、引き続き広報、ホームページ等で周知を図るとともに、関係部署と連携し、多くの市民が参加するイベント等の機会を捉え、ペット防災に関する啓発に努めたいと考えています。

その他の質問項目 地域共生社会の実現を目指して／防災を中心としたまちづくり／人





彩夏祭でのシャトルバス運行の拡大を

獅子倉千代子議員 彩夏祭のメインであります鳴子踊りの踊り子さんの朝霞会場と北朝霞会場の移動にシャトルバスが運行されています。

特に今年のような猛暑の中では「バスに乗れてよかった、ほっとした」という生の声をお聞きました。

しかし、バスの運行は土曜日だけで日曜日の運行はされていません。

ぜひ日曜日も運行し、また一般の来場者の皆様にもご利用していただけるようシャトルバスの運行拡大を図っていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

市民環境部長 鳴子チーム専用シャトルバスは、打ち上げ花火を実施する土曜日において、午後3時を過ぎると、花火実施の影響により朝霞駅が大変混雑し、踊り子の会場間の移動に支障が出てしまうことから、踊り子の皆さんや彩夏祭関係者を対象として、平成28年度から運行しています。そのため、一般の方が並んでしまうと、今度は踊り子の

移動に支障が出てしまい、踊り子が間に合わなくなることも考えられることから、一般の方の乗車はやはり難しいものと考えています。

日曜日については、朝霞駅が比較的混雑しないことや、バス借り上げ費用の負担も考慮し、鉄道の利用をお願いしたいと思いますが、いただいたご意見は、市民まつり実行委員会に伝えたいと思います。



学校給食の食物アレルギー対応について

大橋正好議員 朝霞市では牛乳アレルギーの児童・生徒には、申請に基づき飲まない牛乳代は返金されますが、代替の飲料は自分で水筒を持参して自己管理し、水筒を忘れた場合は我慢するという現状です。

なぜ、牛乳アレルギー疾患の児童・生徒に対して、代替の飲料を提供できないのですか。

食物アレルギー対応の先進地では代替品として、豆乳、麦茶等の提供を実施しています。

弱者に対して、寄り添ってできることはやる。学校社会に対するそのような役目は、私たち大人のすべきことだと思いますので、その理由をお聞きます。

学校教育部長 牛乳以外の飲み物の提供は、現在のところ考えていません。

理由としては、文科省の指針において、アレルギー対策の考え方として、優先されるべきことは安全性であり、原因食物を提供するか、しないかの二者択一の原則で対応することという指針が示されていますので、それに基づき、不足する栄養素については、各ご家庭で補っていただくということで対応したいと考えています。

その他の質問項目 駅南口の無電柱化／学力向上／ベルマークの取り組み／朝霞の水でペットボトル削減について



自習スペースに中央公民館図書室の活用

黒川滋議員 図書館に対しては、自習スペースの確保に関するクレームが多く来ています。

朝霞市の図書館はスペースの制約から館内資料の利用者を優先することはやむをえません。

その上で、中高生の試験勉強に対する自習スペースのニーズと環境改善への要望は高く、対応が必要と考えます。

隣にある中央公民館図書室の重複した機能を図書館本館に集約して、空いたスペースを整備して自習スペースに提供できないのでしょうか。

生涯学習部長 図書館の展示集会室は、文化活動の成果を発表する場として、団体への

貸し出しを目的としています。が、主に中学生、高校生の自習スペースとしてのニーズが高いことから、団体利用が入っていない場合には、自習スペースとして提供しているところではあります。

一方、隣接の中央公民館図書室については、自習スペースとして多数の中高生が利用している状況も見受けられることから、図書館の展示集会室としての機能の確保と自習スペースの確保を図るため、中央公民館図書室を新たに自習スペースとして位置づけることも有効であると思われるため、今後、部内で調整してみたいと考えています。

その他の質問項目 火山噴火の対応／共同墓の必要性／子ども関連事業に対する苦情解決制度／学校給食の委託



若者投票率向上は校則改正経験から

小山香議員 18歳選挙権を当然として投票に行く年齢が下がりました。ところが若者の投票率は低いです。どうして若者は選挙に行かないのでしょうか。学校教育の主権者教育は効果がありませんでした。学校の不満などを口にチャックさせて、卒業したら社会に目を向けなさいでは遅いです。

子どもに対し、学校で子どもの目線で何か不都合なこと、校則でこれがちよつと理解できないとか、それらを話し合い、校則を変えられる体験を得る。投票率向上のためにまずは、そういった経験からと思います。いかがですか。

学校教育部長 校則の改正が投票率の向上につながるかどうかということに関して、今後調査研究していきたいと思っています。

子どもたちに自分たちの学校生活について考えさせることは大事だと思っていますし、現在、例えば生徒会選挙の際には、市から本物の投票箱等を借りるなど、そういった選

挙について身近なものだということを経験する取り組みを行っています。

その他の質問項目 多文化共生社会／地域福祉計画／障害者自立支援／子どもの権利条約／働き方改革と教育委員会



建設関係

公共交通網の整備・検討について

斉藤弘道議員 住民の移動の権利を保障する施策が国や自治体に求められています。

朝霞でも地域公共交通協議会が発足しました。第一回会議では、資料は当日配布、委員の席がないなど、今後、適正な運営がされるか心配です。アンケートやパブリックコメントが計画されていますが、もっと住民の声を聞くべきではないでしょうか。

特に公共交通空白地区には、市が足を運ぶべきです。

また、示された方針の「町内会との協働」「ワゴン車による有償運行」の説明を求めます。

都市建設部長

新たな運行を検討する際、どの運行ルート并希望するか、そのルートにどのくらい乗車するか等、地域住民から意見等を聞くことは、大変重要だと考えています。

公共交通空白地区の改善に向けては、地元の意向確認などを経て、具体的な方向性について協議会で了承を得ていきたいと考えています。

町内会と協働するということは、主に公共交通空白地区への対応で、地元発意によって、路線バスや市内循環バスへの影響も考慮したうえで、アンケート結果も踏まえ、新しい運行計画モデルのたたき台を作成し、地元において、その具体化に関する検討などについても話し合います。

地域の主体的な関わりの中で、こうした空白地区への対応について進め方を検討していきたいと考えています。

ワゴン車による有償運行も、そのうちの一つです。

その他の質問項目 国保への支援の継続と多子世帯の減免／生活保護行政の改善／行政評価や審議会の充実



空き家対策への朝霞市の対応について

利根川仁志議員 平成27年5月に、空き家対策特別措置法が施行されたものの、実際空き家問題で困りになるのは、特に隣接地域になります。

空き家からの樹木が伸び放題になり、自宅の屋根にかぶり、窓にまで当たり、秋になれば枯葉が雨どいにたまり、詰まる。

屋根の破損や、雨どいの補修もすべて自己負担になります。

隣接地が空き家になったことで、大きな不安と憤りを感じている方は、市内でも多くいると思います。

朝霞市の空き家対策の現状について伺います。

都市建設部長 空き家対策については、平成27年5月に、空き家対策特別措置法が施行

され、空き家の所有者の責務として周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないよう、空き家等の管理に努めるということが規定されました。

また、この法律において、空き家等とは、建築物やその敷地などとされ、敷地には立木、その他土地に定着するものも含まれると定義されています。

隣接地の空き家から草木が繁茂し、越境するなどのケースについては、この法律により空き家の所有者の責務として対応していただくこととなるため、市としては、関係課と連携し、空き家の所有者へ建物等の適正管理をお願いしているところです。

その他の質問項目 子ども医療費入通院18歳までの無料化／溝沼地域の貯留施設／五小前の歩道橋の安全確認



民生関係

高齢者が安心・安全に暮らせることについて

福川鷹子議員 ある日、仕事

をしながら一生懸命生活をしている高齢者の方から相談を受けました。今は働けているが最近膝が痛く仕事も少しずつづらくなってきたと感じるそうです。いよいよ施設に入所することも考えておかなければと思っていたが、年金の範囲ではなかなか難しいという声を身近な人たちからたびたび耳にするとのことです。高齢者が年金の範囲でひとり暮らしを不安なく過ごせるために必要な入所施設やサービスの現状と対策についてお聞きます。

福祉部長 介護保険の入所施設の費用については、一般的に世帯の所得に応じて、食費、居住費の負担額について限度額を認定して、費用負担の軽減を図っているほか、介護保険のサービス分の利用者負担についても、高額介護サービス費として、世帯の所得に応じて一定額以上は払い戻されるなど、利用者の負担軽減が

図られています。

また、介護が必要な状態となっても、可能な限りいつまでも不安なく、住み慣れた住宅生活が送れるよう24時間定期巡回訪問介護・看護サービスや、訪問、通所、泊まりのサービスを柔軟に組み合わせて利用できる小規模多機能型居宅介護などもあります。

そのほか、ひとり暮らし高齢者緊急通報システムや高齢者配食サービスなどの実施、在宅医療や地域の支援などの活用を推進することにより、在宅生活の重層的な支援を図っているところです。

その他の質問項目 環境問題について／交通安全対策について／朝霞台駅のバリアフリー化について

新生児難聴支援について

駒牧容子議員 新生児の1千人に1人から2人の割合で、先天性の難聴があると言われています。聴覚の障がい、早期に適切な療育や、人工内耳手術などの治療を受けることで言語の発達への影響が最小限に抑えられます。そこで伺います。①難聴健診の

把握状況②検査結果状況③支援が必要と判断された新生児に対し、行われた支援④経済的理由で受診しない人もいる現状から、朝霞市において公費助成するべきだと思いが、朝霞市の見解をお伺いいたします。

こども・健康部長 今年度の新生児聴覚検査の実績は、令和元年7月末現在で4か月児健診対象者408人のうち394人で、%の方が受検しています。受検状況は平成30年度から把握しており、この間に治療等の必要な事例が1事例あり、この対応は、4か月児健診よりも前に把握し、保健師が補聴器の使用や人工内耳に関する情報提供、精神発達に関する確認等を行っています。

新生児聴覚検査の公費負担は、県内では8市町村で実施し、償還払いでの対応となっています。県では医療機関との一括契約を検討しており、契約が締結されれば、窓口での支払いの必要なく検査を受けていただけることから、公費負担の動きが促進されると考えられます。

今後、県および他市町村の動向を注視してまいります。

その他の質問項目 切れ目のない発達支援(年中健診)について／朝霞市の選挙／信号のない横断歩道について

迅速な手順で心肺蘇生を行うAEDの手袋

本山好子議員 心肺蘇生法の手順が印刷された手袋を使えば目の前で救命を必要とする人が突然現れても正しい心臓マッサージを行えます。

呼吸停止や心停止は誰にも予測できません。そのような場面に遭遇したときに命を救い社会復帰に、より大きく貢献し、脳への障がいを最小限に抑えることをAEDの手袋が手伝います。

防災備品として公共施設や学校避難場所、公用車のダッシュボード、プール授業の救急箱など場所を取らず備えられるうえ、安価なAEDの手袋を用意することの見解をお尋ねします。

こども・健康部長 市としては、AEDの使用手法や心肺蘇生法の習得については周知啓発を図っているところです。心肺蘇生法の補助手袋については、心肺蘇生法の手順やコツのほか、安全確認や呼びか

けなどの事前準備が手袋の表面に記載されており、心肺蘇生を行う際にも役立つものと認識していますので、今後導入に向けて検討してまいりたいと思います。

その他の質問項目 夏季休業中のプール授業／中高年のひきこもり／BMXやスケートボードが楽しめる場所づくり



子ども・子育ての支援体制について

山下隆昭議員 家庭環境が複雑化・多様化する中、児童虐待に関する相談件数は増加傾向にあり、よりきめ細やかな対応が求められる喫緊の課題です。

児童相談所は県が設置主体となり、本市は所沢児童相談所の管轄内にあります。関係機関との連携をより密にし、児童虐待の早期発見・早期対応を図るために、本市が先頭に立ち近隣市と協議を行い、この地域への児童相談



所の設置を県に求めていくことは有効かつ現実的な手段と考えますが、本市の見解をお伺いします。

こども・健康部長 児童相談所の設置主体は、児童福祉法で都道府県、指定都市、中核都市、特別区などと定められており、その機能は相談、一時保護、施設等への入所措置など多岐にわたります。

県の児童相談所を4市に設置することについて、そうした議論はこれまで行われてはおりません。しかし、児童相談所が本市および近隣市に設置されることは有効であると認識していますので、今後、県への要望について4市の協議の中で提案したいと考えています。

その他の質問項目 学校・家庭・地域が連携した教育／性的少数者への支援体制／総合計画策定について

窮迫した福祉施設の労働環境、職員配置状況

田辺淳議員 福祉分野（子育て／障がい児・者／高齢者・介護）で働く職員の皆さんは、処遇が決してよくない割に、給料が他の仕事と比較し

て安いです。給料補助が一部行われているとはいえ、まだまだ職場は人手不足に悩まされています。仮に、基準の人員配置がないまま事業が続けられれば、労働現場はさらにひっ迫し、「ヒヤリハット」どころか重大事故につながります。その意味でもモニタリング（監視・調査）が欠かせません。職員から直接通報できる『公益通報』の仕組みが必要ではありませんか。

福祉部長 保育園、保育関係施設に関しては、公益通報者保護法に関するリーフレット等を各施設に送付して、職員に対して周知してほしいという旨の通知または文書を送りするという対応を行っていますが、障害福祉関係、高齢者関係の施設に関しては、そのような取り扱いを現状で行っていませんので、保育の関係施設同様に、さまざまな機会に公益通報者保護法の資料等を提示して、職員の方に周知することをお願いしています。

その他の質問項目 市民監視社会と自己情報コントロール権／子育てがしやすいまちの現状と課題

虐待から子どもを守るための子育て援助体制

山口公悦議員 虐待により掛けがえのない子どもの命が失われる事件が相次いでいます。未然に防ぐための「189」の周知などの取り組みや相談体制、児童の一時保護や被害児童のアフターケア、親子関係の改善・再生などのためには、福祉、教育、保健などの各部署を越えた体制の一層の強化と児童相談所との連携の強化が求められます。

また、連携しようにも所沢の児童相談所は遠すぎます。身近に作ることはできないのかお答えください。

市長 児童相談所の場所の問題ですが、確かに所沢市ですと、私たちの地域からは非常に遠いところでもあります。

西武線の区域の4市と東上線の4市ということで、地域的にも関わりがあまりない地域でもありますので、この4市に児童相談所を設置していただけるように県に要望したいということを、近隣3市にお願いしてみたいと思います。
その他の質問項目 教職員の超過勤務の根絶を／ごみ減量

対策強化で小規模の焼却場建設を／臨任教員等の待遇改善



請願の審議結果

―不採択―

〔仮称〕朝霞市多文化共生会議 創設の検討

（請願者）

朝霞市多文化推進サポーター

田嶋 理香（りか） ほか1名

国民健康保険税の値上げ中止を求める請願

（請願者）

医療生協さいたま朝霞支部

支部長 村田（むらた）とき子

永住外国人に地方参政権を付与できるように、公職選挙法の改正を求める請願

（請願者）

ディオ・ロドルフ

少人数学級の実現を求める請願

（請願者）

新日本婦人の会朝霞支部

支部長 深澤（ふかざわ）侃子（やすこ）

※掲載内容は令和元年第2回定例会時点のものです。

（敬称略）

議会からのお知らせ

議会の詳細は会議録で

市議会の審議内容を詳しくお知りになりたい方は、市政情報コーナー（市役所1階）のほか、図書館または各公民館図書室で会議録をご覧ください。市ホームページからもご覧いただけます。

なお、常任委員会の会議録も市ホームページからご覧いただけます。（今回の会議録は、12月上旬に公開を予定しています。）

聴覚障害のある皆さんへ

市議会では、本会議の手話通訳を無料で手配します。お気軽にご連絡ください。

次回定例会の予定

今年は、朝霞市議会議員の一般選挙となっています。

次回市議会定例会は、任期満了後の12月18日以降に開会の予定です。

問／議会総務課

☎463-0549

